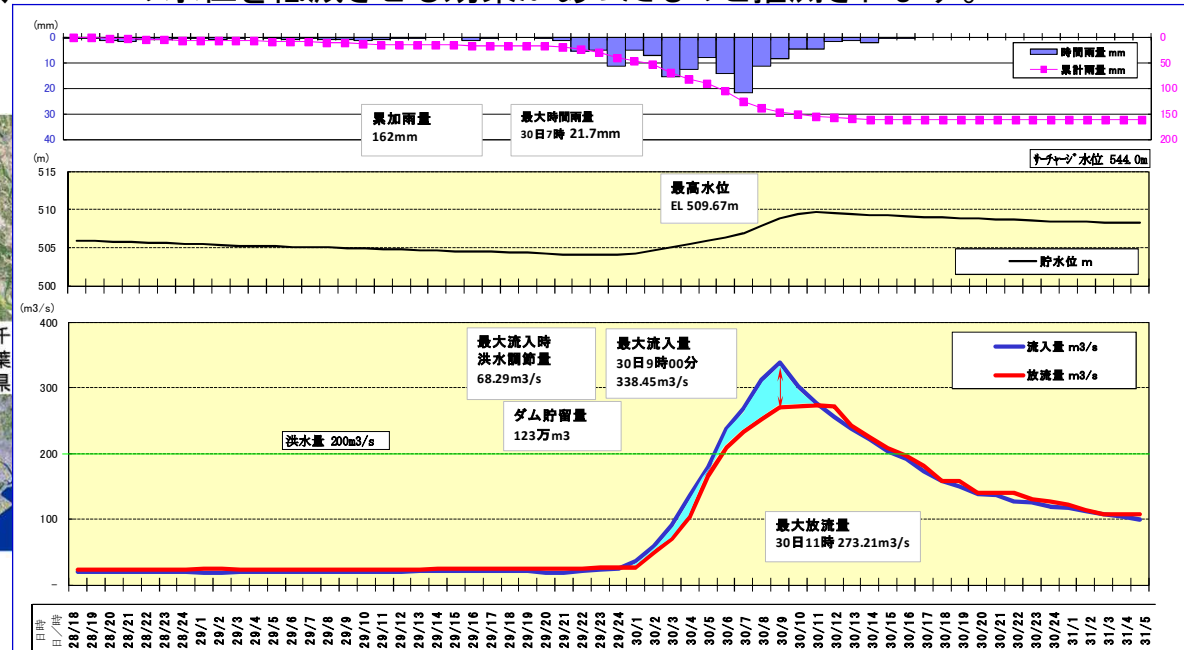
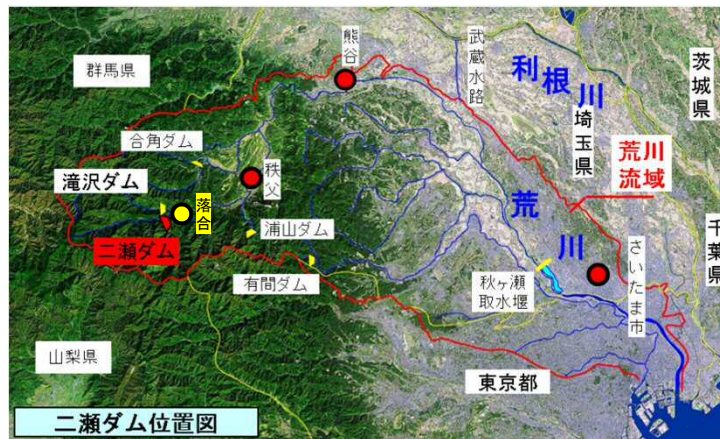


荒川水系荒川 二瀬ダムの効果 台風10号

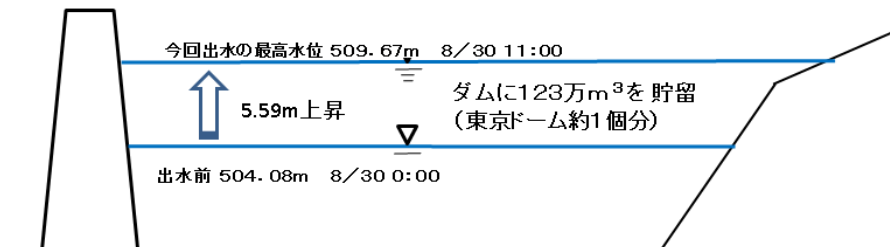
速報値

※数値は、速報値であり、後日変更する場合があります。

- 台風9号に伴う降雨で二瀬ダム上流域において、時間最大が21.7mm、累加雨量162mmとなりダムへの最大流入量は338m³/sに達しましたが、ダムに68m³/sを貯留することにより放流量を270m³/sに抑えました。
- 今回の降雨による出水において、約123万m³(東京ドーム1個分)の水を貯留し、下流の洪水被害軽減を図りました。
- ダム直下流の落合地点(秩父市大滝)では、34cmの水位を低減させる効果があったものと推測されます。



台風による洪水のダムへの貯留(模式図)



二瀬ダムの洪水調節効果(落合)

※落合は、ダム下流約3km地点です

